

国際ロータリークラブ第2570地区 第4グループ



本庄ロータリークラブ会報

No. 41-4・5 第1969・1970回例会 7月24日・8月3日 2003年 8月 7日発行
国際ロータリー会長 ジョナサンB. マジアベ 第2570地区ガバナー 高山 孝
会長 小此木 利明、会長エレクト 加藤 玄静、副会長 岩本 英人・狩野 輝昭
幹事 斎藤 清一

手を貸そう

《本日の例会》

3分間スピーチ

岡芹 正美さん、渡辺 優さん

卓 話

「拠点整備と地方分権」

本庄市参与 田島 一久様

点 鍾 午後12時30分

進行 田沼 正 SAA

ソング 「手に手つないで」斎唱

来訪者 本庄市参与 田島 一久様

青少年交換学生 ルジミラさん

会長挨拶・報告

小此木 利明 会長



梅雨の明けないうつうしい日が続いているが、本日の例会出席ありがとうございます。

まずはお客様の紹介をいたします。本庄市参与の田島一久様、来日学生のルジミラさんです。田島様には後ほど卓話をお願いいたします。

先週坂戸のガバナー事務所にてペツツの受講があり例会欠席申し訳ございません。また昨日の昼に、斎藤幹

事と高井さんのお見舞いに行ってきました。病状はなかなか快方に向いていない様子なので心配です。夜は深谷で第一回の会長幹事会に出席してきました。年間6回開かれますが、クラブの大切な財源を使いますので当クラブの為になるよう、しっかり勉強してきたいと思います。

さて8月は会員増強と退会防止月間です。この件につきまして高山ガバナーより強く指摘を受けています。その理由は、1995年には地区で2915名当クラブで93名だったのが、2003年には地区で2213名当クラブで87名となっています。地区として約700人を超える会員の減は大変なことと痛感したわけであります。今後とも会員増強と退会防止につきましてご協力お願いいたします。また当クラブの歴代会長と出席委員会が頭を痛めてきた出席率の問題、主席率アップを本庄ロータリークラブ充実のためにもぜひご理解くださいますようお願いいたします。

最後に7月28日米山委員会の会議があり、渋谷委員長が出席予定。8月2日ロータリー財団の会議に、斎藤幹事が出席予定。8月22日新幹線募金協議会の総会に、岩本副会長の出席をお願いしております。

以上ありがとうございました。

幹 事 報 告

斎藤 清一 幹事

本日は、田島参与お越しください、ありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

先ほどの小此木会長の挨拶にもありましたように、先週（7月17日）ペツツを終了しましたので、小此木新会長が誕生したことになります。どうぞ、皆様小此木新会長の御支援よろしくお願ひいたします。

高井さんのお見舞について、昨日小此木会長と病院に行ってまいりました。個人的にお見舞を考えている方もいると思いますが、できましたら自宅に行かれた方よろ

しいかと思います。

- ・ 来週（7月31日）は、8月3日の移動例会のため振り替え休会となります。お間違えないよう、お願い致します。
- ・ 例会変更の案内が秩父RCより届いています。
- ・ 年度計画書が川本RCより届いています。

来 訪 者

◆ルジミラさん スピーチ



みなさんこんにちは。日本の生活にとてもなじめ、多くの友達ができて毎日が楽しいです。先週部活もサマーキャンプで白馬に行ってきました。真夏に雪を見たのは初めてです。8月4日から17日まで一人で京都・奈良・大阪・名古屋へ旅行に行きます。今日はお小遣いどうもありがとうございました。

委員会報告

★親睦活動委員会

金井 直樹 副委員長



8月3日の移動例会「長岡まつり大花火大会鑑賞」に多くの方の出席ありがとうございます。先週お渡しした案内状の訂正がありますのでご報告いたします。福祉会館着は誤りで正しくは商工会議所着です。本日訂正した案内状をお配りいたします。また当日はバスより桟席まで歩くことになると思いますので身軽なご支度で参加お願いいたします。

◆ルジミラさんの近況報告 後藤 芳生 カウンセラー



ルジミラさんの一人旅について、カウンセラーとしての万全なフォローをし、国内でよい思い出づくりができるよう支援する観点より了解しました。

五十嵐 一貴君ですが昨日ブラジルのカウンセラーより無事到着の連絡がありました。元気に活躍してくれるものと思っております。

3分間スピーチ

・岡芹 正美さん



高齢者介護研究会がまとめた2015年にむけての提言

1. 介護予防の大切さ
 2. 痴呆のお年寄りへのケア
 3. 老人ホームの地域コミュニティへの参加
- を軸に、自身の職場（安誠園）のことなどを話される。

・渡辺 優さん



当クラブ内での「自分一番」を探してみました。名簿の順が後ろから一番です。

職場（HOYAヘルスケア）で、作っている眼内レン

ズ(人工レンズ)は今日本で一番良い物となっています。

卓 話

・「拠点整備と地方分権」

本庄市参与 田島 一久 様



みなさんこんにちは。本庄市の参与という職で仕事をさせて頂いてる田島でございます。本日皆様にお話させて頂きたいのは「拠点整備と地方分権」という内容です。

地方分権というのは解りやすいようで大変なことです。拠点整備という内容で卓話をさせていただくのが2回目になると思います。すべての本(もと)は、地方分権です。この地方分権というのはみなさんが色々なところであるいはマスコミ等でお聞きになっていると思います。よく言われている「三位一体の改革」という言葉がございます。言葉というよりこれは政策目標です。現内閣の骨太の方針であります。この三位一体の改革を行うというのを簡単に言えば、国と地方との税財政の改革をするということです。これは国に財源がなくなったから、地方に交付税として渡すお金が少なくなる。だから地方は頑張って自分達のサービスは自分達の税収で行ってほしいという政府の方針であります。それがなかなかできないので、そこで出てきたのが「一つの市町村ではできないから合併してください」ということで、今合併論議が盛んに行われているわけであります。

この三位一体の改革で一番問題となっているのは、交付税というものを使用することによって、日本中の市町村が主な施策について、皆が同じレベルで生活できる保障をする施策ができたわけです。しかし今その為の財源がない、税収が少ない。さらに稼いでいる自治体、いわゆる交付税を出している自治体が現在のシステムに「ノ一」と言い出した。選挙制度が中選挙区制から小選挙区制に変わり、総体的に言うと都市部の意見が通り易くなつたわけです。今都市部の自治体も苦しいなかで、自分自身のためにそれを利用したい意見が増えてきました。今日「三位一体の改革」によって地方交付税を簡単には

支出できなくなり、財務省は地方交付税の4割カットをしようとしているわけです。「自治体は自分達で税収を増やせるよう考えなさい」と言っています。そこで問題になるのが自立ということです。各々の自治体が自立するとなつた時一番重要なのは、これから少子高齢化を迎える時に福祉ということを誰がするのか、これは地方分権の中でやってゆかざるを得ないなら、自治体は自立する必要があるわけです。その自立するという中で、何を考えてゆかなくてはならないかというと福祉です。福祉というのは、国や県もしくは市が単に行うものではなく、皆さん方の税金で始めてできるものです。どなたかが税金を払ってくれるだから福祉ということが成り立つのです。これは景気が悪いだの言ってられません。その為に自立ということが必要になるのです。そうでないと地方分権という言葉だけの問題で終わってしまいます。地方分権という条件だけ内容だけを詰めていって、その根底にある予算的裏づけがどこかに行ってしまうといけない。このようなことがこれから問題となるし、待った無しになります。今の本庄市は高齢率が14~15%です。団塊の世代が高齢を迎える2015年には約20%強、さらに2025年には30%を超えてまいります。いったい誰が面倒を見るのか。そうゆうことからも地方分権といわれている中で、合併が必要になるわけです。よりスリムにして、必要なところに集中的に予算を配分するとかが、一つの手段として必要になってきます。それは当然、障害者の地域ケアや、人づくり、子供の目線や市民の目線に立った教育というが必要になるのでしょうか。それらのことについても、誰かが払うというのではなく、そこに住んでいる人達が払うのです。

今本庄市は、地方交付税という国からいただく税が約40億円、それが平成14年度では約33億円に減額してゆきます。これからより必要になるのに減ってゆくのです。そこで本庄市はどうしてゆくかを考え、「拠点地域の整備」ということを打ち出したわけです。本庄市が他の市町村から羨ましいと言われたのは初めてのことではないでしょうか。地方分権、あるいは自立をするという中で、手段としてはこれしかない。そうゆうことを行っているわけです。新幹線新駅を造り、リサーチパークを造り、周辺の都市開発を行う。この中で一番武器になるのは、リサーチパークの中にある施設で、日本における映像関係施設の最高水準であるTAOです。この施設を使って来年度から篠田監督が大学院生達を教えるそうです。あるいはインキュベーションキャンパスなどが来年完成し、情報系環境系の大学院生が来るわけです。今ここに早稲田大学が来るということで、少なくとも他の地域にないメリットがきつつあると考えております。また新幹線新駅、これも武器になります。来年の3月に

初めてこの市に新幹線が停まる。周辺に約1000台収容の駐車場を設ける。さらに何らかのコミュニティの場ができればよいと考えております。インキュベーション施設には、地元や地域外の起業家を積極的に応援しバックアップするための部屋や研究施設を設けてあります。ここに新しい雇用の場を創成するよう努めております。これら一つ一つが地方分権の素になります。

どんなサービス業であっても、どんな行政体であっても、自分達が税金を払うという組織がなければ福祉は成り立たない。その為の合併であり、その為の拠点地区の整備であります。その為に私どもはここにどれだけの雇用が生まれるかを最大限に考えながら努めてゆきたいと思います。さらに私が望むのは、他の地域からどれだけの企業・人が来るかということも重要視してゆきたいと思います。雇用が増える可能性があるのです。

おかげさまで新幹線新駅の寄付に際し、本庄ロータリークラブより多大なご好意をいただきてゐるわけであります。ありがとうございます。さらに皆様個人の事業者の方々にも、地方分権、自立ということを考えたとき、この事業に参画する、この本庄市に投資するという気持ちでご寄付をいただけるなら、よりいっそうこの事業が進んでゆくと思いますのでよろしくお願ひいたします。

ニコニコBOX委員会

藤井 仁 委員

(順不同・敬称略)

茂木 聰 田島 一久本庄参与『本庄市の現況と将来』の卓話大いに期待しています。

(以下同文でご投入がありました。)

高柳 育行・下山 正男・横尾 弘明・中島 高夫・
武井 包光・松原 幹男・立石 秀寿・斎藤 清一・
小此木 利明

古瀬 末雄 小此木 利明新会長大変でしょうが頑張ってください応援致します。

(以下同文でご投入がありました。)

竹中 俊吾・三宅 健吉・福島 文江・野村 正行・
金井 澄雄・岡根 昇・井河 久昇・梅村 孝雄・
笠原 勝・岡芹 正美・橋本 恒男・下山 正男・
野澤 章夫

岩渕 富男 岡芹 正美会員、渡辺 優会員3分間スピーチ楽しみにしています

巴 高志 ゴルフ部の新部長・岡崎 正六さん応援します、頑張ってください！！

戸谷 丈 国際ロータリー創立100年を祝いましょう！！！

(以下同文でご投入がありました。)

温井 一英

小此木 昭二 早退します。

金澤 喜作 久しぶりに例会に出席致しました。ロータリーは楽しいです。

近藤 伸侑 奥鬼怒林道へバイクで行って来ました。若カモシカ、キツネに出逢いました、人手が入ってない林道いいです、自然がいっぱい。

金子 弘 会員増強委員会です。1年間よろしくお願ひ致します。

斎藤 清一 高井 和夫会員(前会長)病気を克服し早く元気になって本庄クラブに帰ってきてください。みんな待っています。

(以下同文でご投入がありました。)

小林 雅幸・田沼 正・渋澤 健司・岩本 英人・
入 利雄・岡崎 正六・佐藤 三郎・佐藤 敬一・
杉山 淑子・中村 孝

渡辺 優 3分スピーチの機会をありがとうございます。

藤井 仁 梅村・小林年度の食事券をふじ井で食事券をしていただいた方有りがとうございます。

本日の投入金額合計¥ 51, 000.

出席委員会

近藤 伸侑 委員長

会員数	出席免除会員	出席義務会員	出席会員	出席率
87名	6名	81名	53名	90.8%

(内メ一キャップ20名)



7月29日 高井 和夫 前会長 葬儀・告別式

高井 和夫さんのご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

予定表 プログラム委員会

月 日	担当・月間	内 容
8月14日		休 会
8月21日	拡大委員会	卓 話 本庄南RC拡大の思い出 竹並 栄一郎さん
	国際奉仕委員会	卓 話 ローター アクトの活動について 種村 真美子さん 他
8月28日	夜間例会 (於:五州園)	
9月 4日	新世代のための月間	新世代委員会 戸谷 清一 委員長

《本日の例会》

移動例会

『みんなで行く、真夏の夜空に奏でる、
音と光の交響学 長岡花火大会』

点鍾 バス車中にて
進行 渋澤 健司 SAA
ソング 「奉仕の理想」齊唱



* 参加の会員、家族 76名が2台のバスに分乗して
15時、定刻に長岡を目指して出発しました。

小此木 利明 会長、斎藤 清一 幹事、下山
正男 親睦活動委員長には、途中バスを乗り換えて
の移動例会で、挨拶・報告をいただきました。

すばらしい長岡の花火を楽しんだ後、22時には
長岡を出発し、思ったより早く午前1時に本庄到着、
解散となりました。

親睦活動委員会の皆様、大変お世話になりました。



クラブ会報委員会

巴 高志、茂木 聰、三宅 健吉、野澤 章夫、小林 雅幸

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571 E-mail honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>